



オーストラリアインカムオープン 決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2015年12月15日

平素より、「オーストラリアインカムオープン」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当ファンドは2015年12月15日に第49期の決算を迎え、当期の分配金を、前期の185円(1万口当たり、税引前)から、140円(1万口当たり、税引前)へと変更いたしましたことをご報告申し上げます。
今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2015年12月15日)

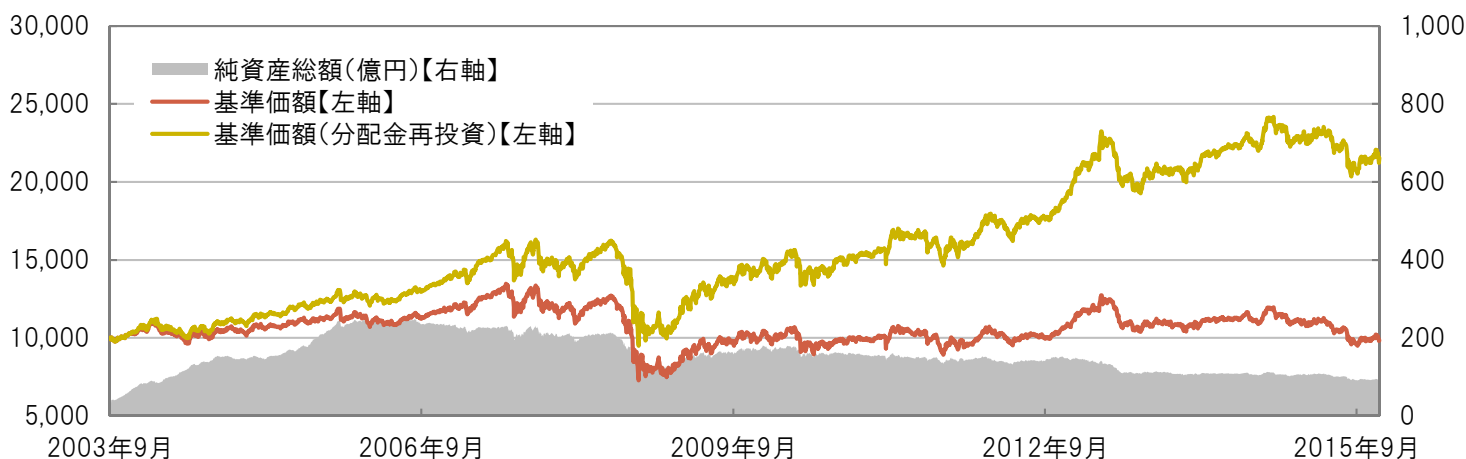
分配金(1万口当たり、税引前)	140円
基準価額(1万口当たり、分配落ち後)	9,822円

【分配金実績(1万口当たり税引前)】

第45期 (2014年12月)	第46期 (2015年3月)	第47期 (2015年6月)	第48期 (2015年9月)	第49期 (2015年12月)	設定来累計
185円	185円	185円	185円	140円	8,275円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額の推移(期間: 2003年9月26日(設定日)~2015年12月15日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通しなしい分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

オーストラリアインカムオープン

分配金引き下げについて

2015年初以降、豪州債券の利回り低下により、足下の配当等収益は減少しています。また、豪ドル安の影響により、基準価額水準は弱含みの推移となっています。

上記の状況を鑑み、当ファンドの基準価額の水準、配当等収益や市況動向を勘案して、分配金の水準を下げることにより信託財産の成長を図りながら収益分配を行うことが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考え、分配金の見直しを行うことといたしました。

2015年初来の振り返り

【債券市況】

～年初来の債券価格は上昇、資源価格の下落と世界的な低金利環境継続などが債券価格を下支え～

年初から豪州債券価格は資源価格の下落などを背景に上昇基調となりました。一時豪州の雇用統計が良好だったことなどから下落する局面もあったものの、世界的な低金利環境が続いたことや資源価格が下落したことなどから、豪州債券価格は年初来で上昇しました。

<主な債券価格上昇(金利低下)要因>

資源価格の下落:昨年来、豪州の主力輸出品である鉄鉱石などの資源価格は下落傾向が続いており、中国の景気減速による需要の減少などから2015年も引き続き低調な推移となったことが、金利低下の要因となりました。

世界的な低金利環境継続:米国では堅調な国内経済の改善を背景に徐々に年内利上げの観測が高まっていますが、豪州および依然として低インフレが続く欧州および日本では低金利政策が続けられており、世界的に低金利環境が継続したことも金利低下の要因となりました。

<主な債券価格下落(金利上昇)要因>

豪州の景気拡大:足元の豪州準備銀行(RBA)の声明文で、経済環境の改善見通しが過去数カ月にわたって確かになったとある通り、雇用の改善などに支えられ豪州は緩やかな景気拡大が続いていることが、豪州債券の金利上昇要因となりました。

【為替市況】

～資源価格の下落や中国経済の減速などにより対円で下落～

7月から9月にかけて中国における株価の大幅下落や景気減速懸念、人民元の切り下げなどがリスク回避を強める形となり、豪ドルは大幅な下落となりました。その後経済見通しの改善などから豪ドルは上昇したものの、夏場の下落幅を埋めるまでには至らず、年初来では下落となりました。

<主な豪ドル下落要因>

資源価格の下落:豪州の主力輸出品である鉄鉱石や石炭などの資源価格の下落や、主要貿易国である中国経済の減速が市場のリスク回避姿勢を強めたことが、豪ドルの下落要因となりました。

<主な豪ドル上昇要因>

豪州の景気拡大:雇用の改善や経済環境が改善見通しにあることなどが、豪ドルの上昇要因となりました。

(出所)UBSアセット・マネジメント株式会社のコメントより三菱UFJ国際投信作成

■上記は過去の実績・状況です。本見通しなしい分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

オーストラリアインカムオープン

今後の見通し、運用方針

【債券市況の見通しと運用方針】

RBAは、12月1日に行われた金融政策決定会合において、政策金利を現状の2.00%で維持することを決定しました。RBAが会合後に発表した声明文においては、豪州経済について、経済成長率が過去の平均を下回る状況が続いているものの、非資源セクターでの事業環境の改善、それに伴う雇用者増と失業率の安定化などが確認されていること、物価上昇率が今後1-2年間は当局が目標とする範囲内で推移するとみられることなどが述べられました。市場では、豪州での雇用環境の改善と米国での利上げ観測の高まりを背景として、利下げ観測が後退しつつあります。一方で、豪州経済が転換期にある中で課題に面している状況には変わりなく、インフレが抑制されていること、住宅価格の上昇がピークを越したことから、RBAは2016年に追加金融緩和を行うものと予想されます。

ポートフォリオにおいては、今後も金利水準や市場心理等を考慮しながら、必要に応じてデュレーション調整を機動的に行ってまいります。また、組入債券種別戦略に関しては、信用スプレッド水準を考慮しながら種別の組入比率を調整する方針です。新規発行銘柄については、割安と判断される場合には積極的に組入れを検討いたします。

【為替市況の見通し】

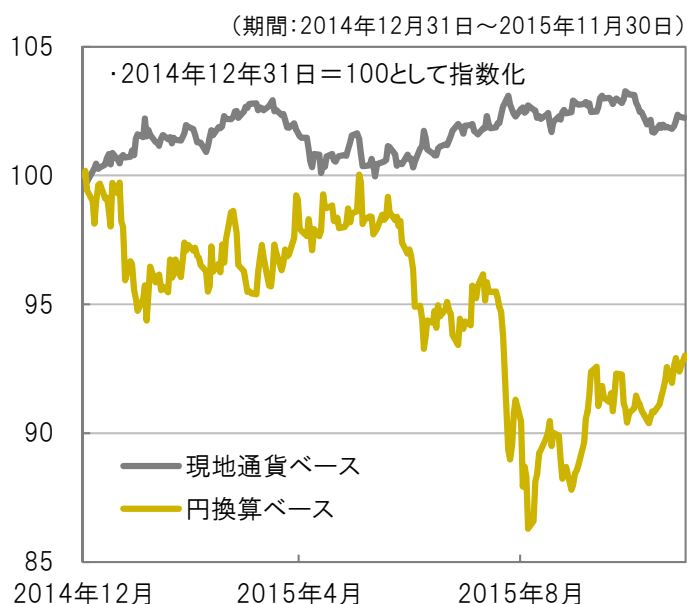
RBAが12月の金融政策決定会合後に発表した声明文においては、豪ドルについて、資源価格の下落に伴って下方に調整したとの見方が示されました。また、足元においては、資源価格の下落基調が続く中でも、豪ドルは一定の水準を維持しています。

豪州では、今後、景気刺激のために追加利下げが必要となるものと予想されます。一方、雇用者数が増加傾向にあり、経済見通しが全体的に改善していることに加え、9月に選出されたターンブル新首相による経済成長を重視した政策が今後の消費活性化や景況感改善につながるとの期待が高まっています。

先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を維持し、金利上昇が抑制される傾向にある中、相対的に高利回り通貨である豪ドルへの需要は維持されるものとみられています。また、豪州国債の良好な格付けなども今後引き続き豪ドルの支援材料になるものと思われます。

(出所)UBSアセット・マネジメント株式会社のコメントより三菱UFJ国際投信作成

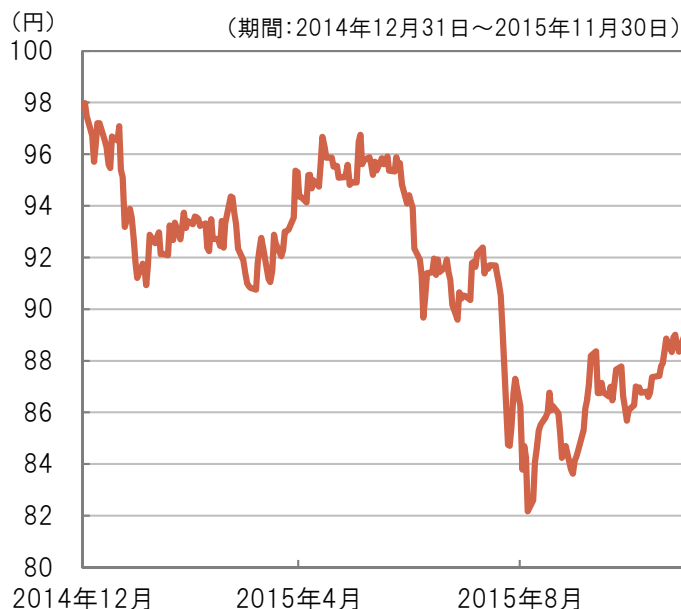
オーストラリア債券※市況の推移



※上記は「ブルームバーグ オーストラリア債券(総合)インデックス」の値を使用しています。
ブルームバーグ オーストラリア債券(総合)インデックスとは、オーストラリアの債券市場の値動き(豪ドルベース)を表す指数です。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

豪ドル(対円)の推移



■ 上記は過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。■ 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

オーストラリアインカムオープン

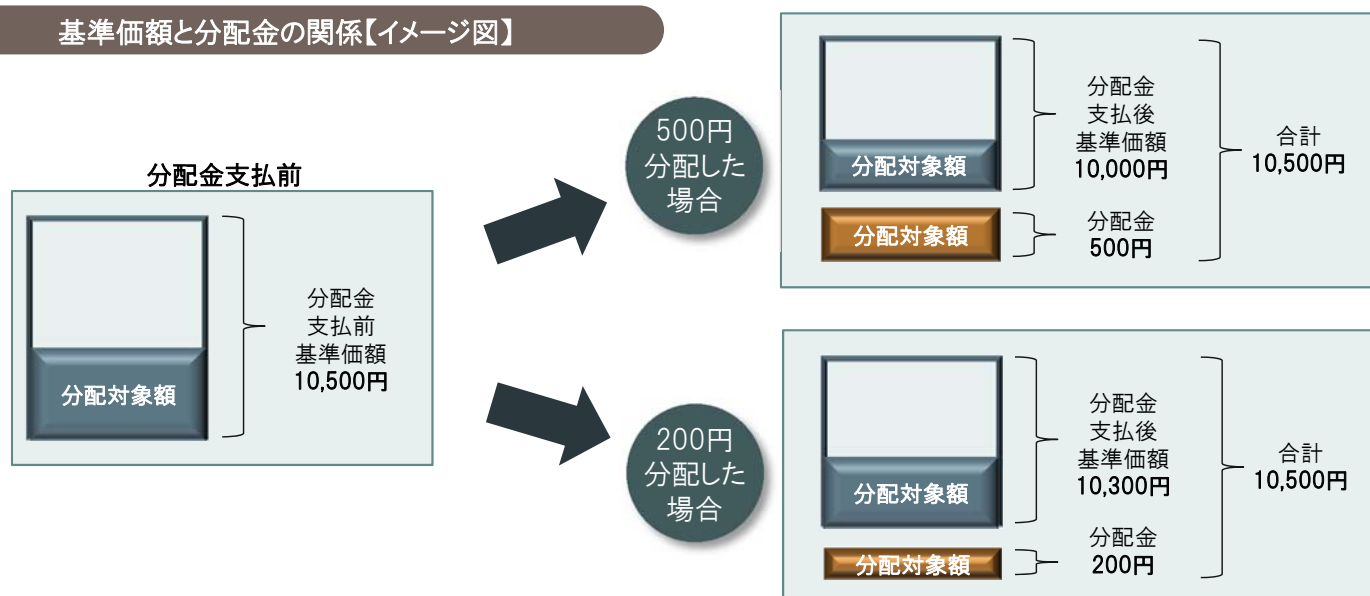
Q.1 分配金を引き下げた分は、どうなるのですか。また、基準価額への影響はありますか。

A. 分配金を引き下げた分は、ファンドの純資産として残ります。したがって、分配金支払い後の基準価額は、分配金を引き下げた分だけ下落幅が小さくなります。

投資信託の分配金は預貯金と異なり、投資信託の純資産から支払われます。つまり、分配金はファンドの元本と別に管理されているわけではなく、ファンドの資産の一部として運用されています。そのため、分配金を支払うと、その分資産が減り、基準価額の下落要因となります。

分配金を引き下げた場合、分配金を引き下げた分は、ファンドの純資産として残ります。したがって、分配金支払い後の基準価額は、分配金を引き下げた分だけ下落幅が小さくなります。

基準価額と分配金の関係【イメージ図】



上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆あるいは保証するものではありません。

Q.2 今後、分配金を変更することはありますか。

A. 今後の分配につきましては、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して決定いたします。また、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

今後の分配につきましては、引き続き分配水準の安定性に配慮しながら、分配方針に従い、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して分配金を決定いたします。

投資信託の分配は、利子収入、債券や為替の値上がり益の合計額および過去の収益の繰越分(分配を行わなかった分)などを収益分配原資として行います。したがって、これらの状況の変化により分配金額は変わることも、あるいは支払われないことも考えられます。

様々な要因により分配原資総額は変化いたしますので、将来の分配金額については、あらかじめ一定の額をお約束できるものではありません。



オーストラリアインカムオープン

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、高格付けの公社債に分散投資することにより、安定した収益および公社債の利子収益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・豪ドル建ての債券に投資し、安定的な運用をめざします。
- ・高格付けの豪ドル建ての国債、政府機関債、州政府債、社債、資産担保証券(ABS)、モーゲージ証券(MBS)、国際機関債等に分散投資します。
- ・組入債券の平均格付けは、原則としてAA一格相当以上を維持し、信用リスクの低減をめざします。また、投資する債券は、原則として購入時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限定します。
- ・ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(円換算ベース)をベンチマークとします。
- ・組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・3か月毎の安定した分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ・運用は、豪ドル建債券運用に実績があるUBSアセット・マネジメント(オーストラリア)リミテッドに委託します。

<主な投資制限>

- ・外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

【運用委託先の社名変更のお知らせ】[約款変更日]2015年12月15日

UBSグローバル・アセット・マネジメント(オーストラリア)・リミテッドは、2015年10月30日付でUBSアセット・マネジメント(オーストラリア)リミテッドに商号を変更しました。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
 したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ国際投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

オーストラリアインカムオープン
投資リスク
■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1万口単位または1口単位のいずれか販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額－信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	シドニー先物取引所の休業日、シドニーの銀行の休業日、その他シドニーにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2015年の該当日は1月26日、4月3日、4月6日、6月8日、8月3日、10月5日、12月25日、12月28日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	無期限（2003年9月26日設定）
繰上償還	受益権の口数が30億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年3・6・9・12月の各15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年4回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

オーストラリアインカムオープン
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	
購入時手数料	購入価額× 2.7%(税抜 2.5%) (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。 詳しくは販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額× 0.2%
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.188%(税抜 年1.1%)
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り、)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

<お客様専用フリーダイヤル> **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufug.jp/>

